

## コントロールハードウェア&ソフトウェア

### ENC-CTRL-FRM

Encoreコントローラー・フレーム (2RU)  
製品構成：シングルコントローラー・モジュール、シングル電源、Encoreソフトウェア・ライセンス

### ENC-CTRL

アディショナルコントローラー・モジュール  
(1モジュールあたり各1枚のENC-SIOまたはENC-GSCを実装可能、オプション)

### ENC-CTRL-HW

Encoreコントローラーフレーム (2RU)  
製品構成：シングルコントロール・モジュール、シングル電源 (ソフトウェア・ライセンスは同梱されません。別途オプションのENC-SWサイトソフトウェアが必要となります。)

### ENC-SIO

8ポートシリアル・インターフェースモジュール  
シリアル・コントロール用のRS232、RS-422/RS-485ポートを8ポート搭載

### ENC-GSC

SMS7000コントロール・パネル接続用インターフェース・モジュール

### ENC-CTLPS

コントローラーフレーム用リダンダント電源

### ENC-SR-CAB4

シリアルリダンダント・ケーブルキット (4ポート)

### ENC-SW

Encoreシングルサイト・ソフトウェア・ライセンス

### ENC-NETCEN

Encoreコントローラー用NetCentral SNMPエージェント

### ENC-VSD

Encoreビジュアルステータスディスプレイ・ソフトウェア(1ライセンス)

### ENC-SALVO-EDITOR

Encoreサルボエディター・ソフトウェア(1ライセンス)

## コントロールパネル

### ENC-BPS

Encore 32ボタン・コントロールパネル (1RU)

### ENC-XY

ユニバーサル・XYコントロールパネル (1RU)

### ENC-48B

48ボタンオンリーコントロールパネル (1RU)

### ENC-PMB

ページング・マルチパス・コントロールパネル (2RU)

### ENC-UCP-XY

Encore ユニバーサルXYコントロールパネル (2RUハーフラック幅)

### ENC-RMK

ENC-UCP-XY用ラックマウントキット (最大2台のENC-UCP-XYを実装可能)

※詳細は別途お問い合わせください。

## 保証

グラスバレー製品は厳格な規格に基づいて製造され、また優れたハードウェアおよびソフトウェア保証によりサポートされています。

製品の保証期間は設置日から1年、または発送日から15ヶ月の、いずれか早い方となります。

●予告なく仕様または外観の一部を変更することがあります。●グラスバレー製品の名称はGVBB Holdings S.a.r.l.の商標または登録商標です。●その他の商品名は各社の商標または登録商標です。

最新の製品情報はホームページで	<a href="http://www.grassvalley.jp/">http://www.grassvalley.jp/</a>
ご購入前のお問い合わせは (カスタマーメールサポート)へ	<a href="http://www.grassvalley.jp/ask">http://www.grassvalley.jp/ask</a>

●取扱代理店



●神戸本社：〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー 19階  
●東京本部：〒103-0027 東京都中央区日本橋1-12-8



# Encore

ルーティング コントロール システム

複数のルーティングスイッチャーなどの制御に最適なコントロールシステム



グラスバレー製品は、収録、制作、ストレージ、再生などを含む包括的なマルチフォーマットソリューション、さらに、集中的かつ率先的なステータスと動作状況のモニタリングを行う強力な基盤をご提供します。

## ニーズに応じて拡張できるスケーラブルなコントロールシステム

Encoreは、オープンでスケーラブルなプラットフォームを採用し、ルーターや、その他の機器をコントロールするシステムです。オートメーションシステム、他社製ルーター、その他の機器と密接に連携し、1つのコントロールシステムでメディア資産を容易に管理することができます。モジュラー設計により、放送局やコンテンツクリエイターなどのユーザー様は、必要な機能を選択可能で、最も基本的な機能では、1台のルーティングマトリックスのクロスポイントの切り替えができ、最大2048×2048の複数台コントロールまで簡単に拡張することができます。イーサネットまたはシリアルポートでのタリー/マシンコントロールにも対応しており、また、ハードウェアおよびPC用のソフトウェア・コントロールパネルにより、LAN/WAN接続で同一施設内だけでなく国を跨ぐような広範囲において、すべての機器の集中または分散制御が可能になります。

## 強力な機能

Encoreは、高いカスタマイズ性とコントロール性能を備えています。最大32レベルのマトリックス設定に対応し、タイラインによる

## 主な特長

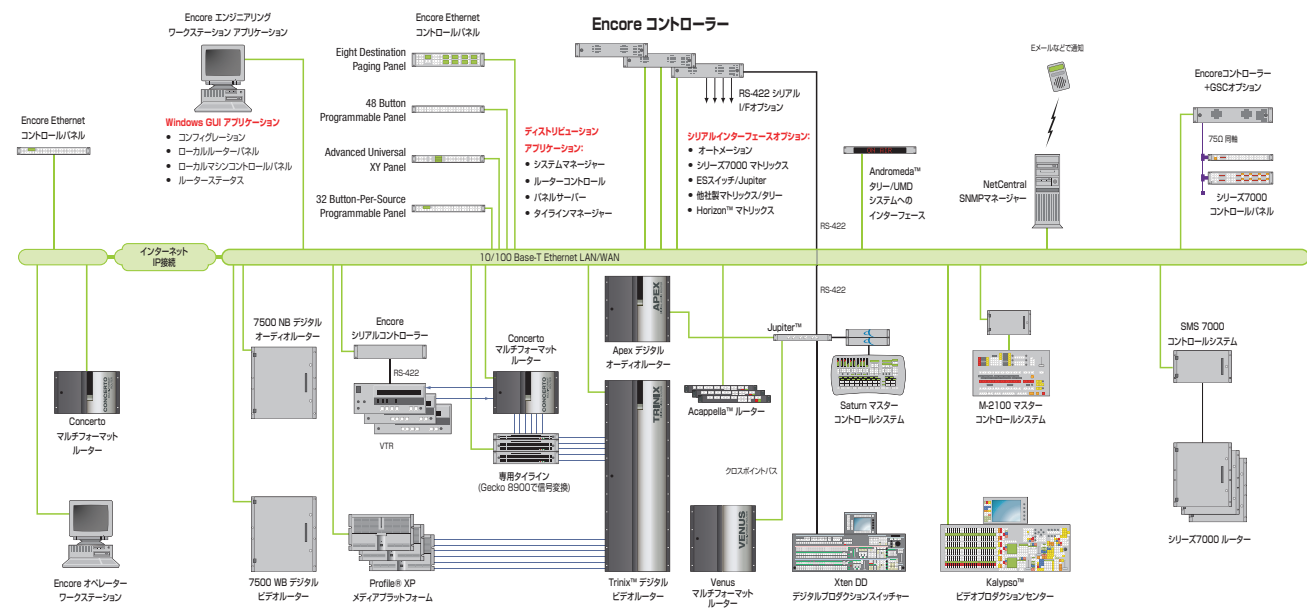
- 必要とする規模に合わせて柔軟な構成が可能なスケーラブルなシステム
- 8×4 から 2048×2048 までのルーティングマトリックスをコントロール可能
- 10/100Base-T インターフェースを搭載
- 複数のコントローラーフレームを使用して、大規模または複雑なシステムをコントロール可能
- NetCentral™をサポートし、SNMPベースのステータスマニタリングと診断が可能
- LAN/WANをサポートし、同一施設内だけでなく広範囲の機器をコントロール可能
- 専用ハードウェアまたはPC上で動作するソフトウェア・コントロールパネルをラインナップ

複数マトリクス間の透過的な操作や、独自のアクセス優先権/制限機能により複数ユーザーをサポートすることが可能です。ソフトウェア・コントロールパネルでは、ユーザーのPCからソースとデスティネーションのコントロールが可能です。ルーティングのエイリアスは、エリアが異なれば同一の名称を使用することができ、例えば、ある編集室で「VTR1」という名前を付けてVTRをコントロールしていても、制作エリアで同じく「VTR1」という名称を付けて別のVTRをコントロールできます。Encoreは、イーサネットを使用して、Trinix™、Concerto™、Acappella、7500WB、7500NBなどの当社のルーター製品をコントロールします。また、シリアルインターフェースにより、SMS7000シリーズとHX-TCIプロトコルをサポートしたルーターのコントロールにも対応しています。加えて、VM-3000を経由してApex™やVenus™を制御することも可能です。他社製のルーターにも幅広く対応し、シリアルインターフェースでコントロールすることができます。Maestro、Kayenne™、Kalypso™、Zodiak™、XtenDD™など、当社の様々なマスターコントロールやスイッチャーにも接続することができます。これにより、ソース選択などのルーターのコントロールや、ソース名の表示などが行えます。また、Apexや7500NB、Concertoなどのオーディオ対応マトリックスのコントロールでは、チャンネルのサム、スワップ、インパート、デュプリケートなどが可能です。

- Trinix、Concerto、Acappellaなどのルーターをイーサネット経由でコントロール
- SMS7000シリーズなどのルーターをシリアルでコントロール
- VM-3000経由でApex、Venusをコントロール
- 他社製ルーター、タリー、オートメーションシステムなどに対応するインターフェースを搭載
- 当社製マスターコントロールやプロダクションスイッチャー製品用のインターフェースを搭載
- 強力なタイラインマネージメント
- 強力なセキュリティレイヤーでのユーザーアクセスコントロールに対応
- 完全な冗長化に対応

## 洗練された大規模または多様なシステムのコントロール

Encore コントロールシステムは既存のルーティングシステムに様々なオプションと新しい機能を提供します。



### 最大2048x2048までコントロール可能

コンパクトな2RUサイズの専用コントローラーフレームを使用し、大規模、複数マトリックス、複数拠点などのシステムをコントロールすることができます。各コントローラーフレームは、最大2台のコントロールモジュールと2台の電源モジュールを実装可能です。複数のコントローラーモジュールにより、タスクを分けてスループットを増加させたり、サーバーやタイライン管理に専用のコントローラーを割り当てたり、システム全体のレスポンスを改善するコントローラーを追加するなどの様々な使い方が可能です。万が一に備えて、電源の二重化とコントローラーモジュールの二重化、さらにはコントロールフレームの二重化を行うことで、システムの信頼性を最大限に高めることができます。ネットワークへのコントローラー接続を二重化すれば、ミッションクリティカルな用途に対して、さらなる冗長性を確保できます。各コントローラーフレームは、オートメーションインターフェースなどの用途に応じて、8つのシリアルI/Oポートをサポートすることができます。(オプション)

### 複数拠点にまたがるシステムのコントロール

Encore システムは、RJ45コネクタを用いた10/100Base-Tのイーサネット接続を使用しているため、標準的なIPネットワーク技術を利用して複数の拠点間にコントロールを拡大することが可能です。Encoreシステムのネットワークに接続しているジャーナリストがPC上のソフトウェア・コントロールパネルを使用してソースを選択する場合も、あるいは、離れた拠点にあるルーティングマトリックスによりリモート機器を完全にコントロールする場合も、標準的なIPルーター、スイッチ、およびLAN/WAN機器を使用することが可能です。

### マシンおよびタリーコントロール

Encoreアーキテクチャーにより、拡張性のある先進的なマシンコントロールが可能です。従来からのシリアルコントロールに加え、K2サーバーやK2 Summit プロダクションクライアントなどの機器をイーサネットベースでコントロールすることができます。これにより、ネットワークを介してアプリケーションにコマンドを送信ことができ、遠隔地に対する番組やCM送出が可能になります。また、Router Control Language (RCL)とグラスバレーSMS7000ネイティブプロトコル(NP)の両方をサポートし、

Encoreで追加されたコマンドセットにも対応しています。主要なオートメーションシステムとタリーシステムのメーカーはネイティブプロトコル(NP)をサポートしているため、これらのインターフェースはSMS7000と同様にEncoreシステムでシームレスに動作します。

### 包括的なタイラインマネージメント

タイラインマネージメントは、SMS7000シリーズコントロールシステムで初めて導入され、この結果、レベル間の透過的信号ルーティングが可能になりました。タイラインにより、ローカルマトリックス上のユーザーは、ソフトウェア制御されたタイライン・パスを介して、リモートルーティングマトリックス上のすべてのソースを利用することができます。

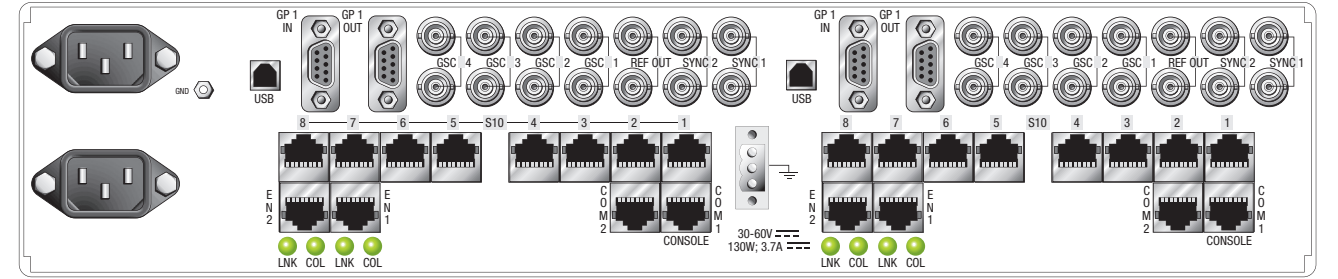
ユーザーが、ローカルマトリックス上に存在しないソースを要求すると、その要求は自動的にタイラインに割り当てられ、リモートマトリックスからそのソースが得られます。信号の種類が異なるマトリックス間のタイラインに変換器を配置すると、各ソースに対して専用のコンバーターを設ける必要がなくなります。Encoreシステムでは、この高い評価を得ている技術に対して、システムのすべてのマトリックス (遠隔地に存在するマトリックスを含む)にセンター施設から大規模のタイラインを構築する機能を統合しています。

### ロジカルマトリックスマッピング

ロジカルマトリックスマッピング機能により、物理的なクロスポイントマトリックスを複数のバーチャルマトリックスに分割してクロスポイントの使用を最適化することができるため、異なる種類の信号に対して専用のクロスポイントモジュールを用意する必要がありません。さらに、設定により、入力信号を適切な出力デスティネーションにのみルーティングすることもできます。これらのロジカルマトリックスを1つのコントロールレベルに統合し、同時にスイッチングを実行することができます(オーディオ/ビデオ、ビデオ/キー、またはR/G/Bなど)。また、ロジカルマトリックスマッピングにより、装置の接続をグループ化し、システムの配線を簡素化することができます。Encoreシステムのマトリックスマッピング機能を利用すると、機器のアップグレードに伴うシステムの再配線を最小限に抑えることができます。ある入力または出力における機器の種類またはフォーマットを変える場合、Encoreのマッピング機能を利用すれ

## Encore コントローラーフレーム

より信頼性を高めるため、電源とコントローラーの二重化に対応しています。



ば、バーチャルマトリックス表を変更するだけで、適切な入力または出力に信号を再割り当てすることができます。

### 先進のSNMPリモートモニタリング

最適なアップタイムを確保するため、Encoreシステムのユーザーは、Simple Network Management Protocol (SNMP)エージェントを配置して、1つまたは複数の機器ネットワークに常駐する装置のステータスを率先的にチェックすることができます。これらのエージェントは、エアフローに障害が発生している可能性を示唆する高温状態などのステータス情報を、SNMPリモートモニタリングおよび診断パッケージ (グラスバレー NetCentral™ソフトウェアなど)に報告し、管理者への連絡などが可能です。

### ソフトウェア・コントロールパネルにより

#### デスクトップの便利さを実現

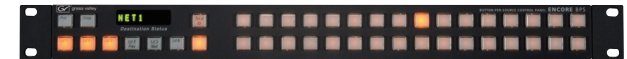
利用頻度の低いユーザーや遠隔地にいるユーザーに対して、EncoreシステムのLAN/WANに接続されたいずれのPCにもソフトウェア・コントロールパネルをインストールすることが可能です。(オプション) Encoreシステムにより、管理者はユーザーのアクセスおよびコントロールレベルを設定し、誤操作を防止したり、新たな機能に対する操作権限を与えることができます。

### 様々なタイプのコントロールパネルを用意

コントロールルームやスタジオにおいて、押しボタンによる素早いコントロールを実現するため、様々なEncoreコントロールパネルをご用意しています。イーサネット接続を利用して、迅速かつ簡単に追加や移動することができます。

### 32ボタン・プログラマブル・コントロールパネル(ENC-BPS)

- テープ/ディスクコピールームでの使用や中継用途での素早いソースアクセスに最適な機能をコンパクトな1RUパネルに搭載
- 複数レベルを持ったデスティネーションに対するブレーク・アウェイ・コントロール
- セルフ・コンフィグレーション機能により、パネル上で一時的にソース選択、レベル、サルボ選択の各ボタンをリマップ可能
- ボタンごとに、ソース、デスティネーション、およびサルボの割り当てが可能
- パネルグループリング機能により、48ボタンパネルを追加することで32以上のソースへのダイレクトアクセスに対応

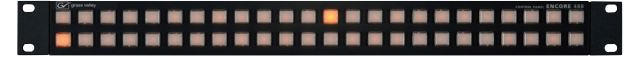


### 48ボタンプログラマブル・コントロールパネル(ENC-48B)

- フル・プログラマブルな汎用1RUパネル
- 48個のプログラマブルなボタンで、ソース、レベル、デスティネーション、サルボ、ロック/プロテクトの選択が可能
- 48x1から、XYの組み合わせによるソース/デスティネーション

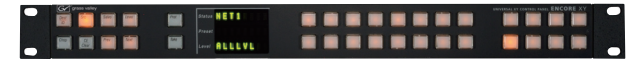
のダイレクト選択までが可能

- 48ボタンパネルの追加またはBPSパネルとグループ化することにより48ボタン以上に拡張可能



### ユニバーサル・プログラマブル・コントロールパネル(ENC-XY)

- ソースおよびデスティネーションを選択するためのシンプルな1RU XYコントロールパネル
- 設定により、シングルまたは複数のデスティネーションをコントロール可能
- 2セットのプリフィックス/サフィックス選択機能を備えたプログラマブルなキーボードにより、ソースやデスティネーションを選択可能
- 3列のディスプレイにプリセット、ステータス、およびレベルをそれぞれ表示
- 48ボタンパネルとのグループ化により、プログラマブル・ボタン数の拡張が可能



### ページング・マルチバス・コントロールパネル(ENC-PMB)

- 8つのソースまたはデスティネーションを同時にコントロール/表示可能な2RUパネル
- ハード/ソフトロック/プロテクト、アンロック/アンプロテクト強制などの高度な保護設定
- Shift機能により16個のプリフィックス/サフィックスを2セット使用可能
- 48ページのレベルとデスティネーションをスクロール表示



### ハーフラックサイズ・XYコントロールパネル(ENC-UCP-XY)

- コンパクトな2RUハーフラック幅のXYコントロールパネル
- 1RUフルラック幅XYコントロールパネルENC-XYと同様の機能を搭載



### ソフトウェア・コントロールパネル(ENC-SOFTPAN1)

- ハードウェアパネル5モデルと同じデザインのGUIを選択可能な他、SMS7000シリーズやKalypso用AUXパネルのデザインも選択可能
- ハードウェアパネルと同様のコンフィグレーションが可能